

## 大阪大学吹田キャンパス

### 吹田福利会館 センテラス (Central Terrace) の再生



夢はバラ色

澤木 昌典\*, 若本 和仁\*\*

Renovation of Suita Welfare Center “Cen-Terrace (Central Terrace)”  
at Osaka University Suita Campus

Key Words : Renovation, Cen-Terrace, Welfare Center

#### 1. はじめに

大阪大学吹田キャンパスは、最初の建物の竣工（昭和42（1967）年）から50年を迎えようとしています。同時期に建設された大阪万博や千里ニュータウンでは、建築や都市計画の分野での画期的、実験的な試みが多くなされていますが、吹田キャンパス建設の初期に整備された微生物病研究所、工学部、産業科学研究所のエリアからも当時の建築や都市に対する夢を、垣間見ることができます（図1）。

しかし、教育研究を支えてきたキャンパスも老朽化し、さらに大学院の重点化に伴う学生数の増加への対応、耐震性能をはじめとする施設の基本性能の改善といった時代の変化から生じる新たな課題もあることから、2000年代に入って再生が継続的に進められています。当初は、研究棟や講義棟といった教育研究に直接かかわる施設を優先的に整備しまし

たが、ここ数年はキャンパスの魅力、構成員のキャンパスライフの充実にかかわる福利厚生施設やオープンスペースの整備も進んでいます。その中で、吹田キャンパスで最大の福利厚生施設である吹田福利会館（新名称：センテラス (Central Terrace) で、以下、センテラスと記します）の再生をご紹介します。



センテラス整備イメージ\*



\* Masanori SAWAKI

1957年10月生  
大阪大学大学院工学研究科環境工学専攻  
博士前期課程修了（1982年）  
現在、大阪大学大学院工学研究科 環境  
・エネルギー工学専攻 教授 副研究科  
長・キャンパス施設マネジメント室長  
博士（工学） 都市計画・都市デザイン  
TEL：06-6879-7657  
FAX：06-6879-7657  
E-mail：sawaki@see.eng.osaka-u.ac.jp



\*\* Kazuhito WAKAMOTO

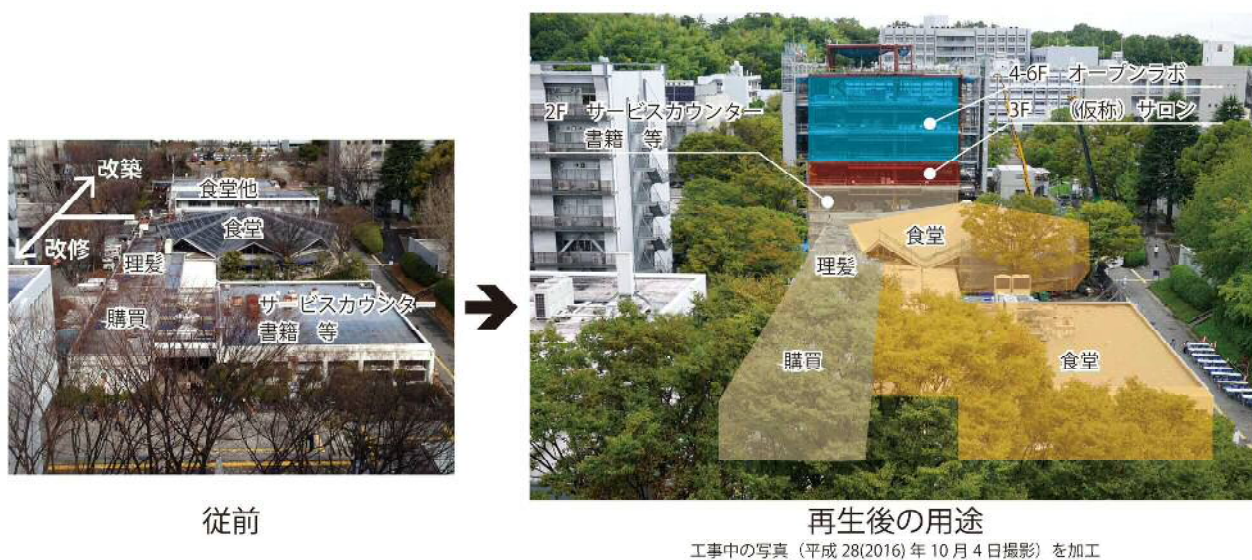
1970年2月生  
大阪大学大学院工学研究科環境工学専攻  
博士前期課程修了（1994年）  
現在、大阪大学大学院工学研究科 環境  
・エネルギー工学専攻 准教授 キャン  
パス施設マネジメント副室長  
建築計画、都市計画・都市デザイン  
TEL：06-6879-4595  
FAX：06-6879-4595  
E-mail：wakamoto@mit.eng.osaka-u.ac.jp

#### 2. センテラス再生の概要

改修前のセンテラスは、老朽化と耐震性能の不足に加え、座席数の不足による食堂の混雑、居心地の悪さや魅力の欠如という、量的にも質的にも多くの課題を抱えていました。そこで、一部を改築して施設を大きくし、全体にゆとりを持たせるとともに、新たな機能（（仮称）サロンとオープンラボ）を追加することとしました（図2）。これにより、3～5節に示すようにデザイン性、機能性、事業性を満足し、大学のアクティビティ向上に資する施設とすることを目指しています。



図1 大阪大学吹田キャンパスとセンテラス計画地（写真は平成20（2008）年11月撮影）



延べ面積5,735m<sup>2</sup>、RC造及びS造7階建、平成29年3月竣工予定（改修部分は、工事が完了した部分から順次オープンしています）

図2 センテラスの再生概要

### 3. キャンパスと従前施設の特徴を生かすデザイン

センテラスとその周辺は、キャンパスマスタープランにおいて吹田キャンパスのライフコア（図1）と位置付けられ、キャンパスライフにとっての最重要エリアとなっています。遡って建設当時のパイロットプランをみると、東西に延びる工学部の中庭は中央キャンパス軸とされ、それに直行するセンテラスの軸と合わせて中央軸という歩行者空間を形成することとされています。当時の構想は今に引き継がれていると言え、このコンセプトに沿った再生を実現するため、従前施設の改修と一部改築を組み合わせています。

従前施設で最も特徴的でシンボリックな景観となっていた八角形の食堂とそれに架かる折り紙のような屋根、周辺の通路や広場との連続性の高い部分は、吹田キャンパスらしさを形成する重要な要素であることから、さらにその良さを引き出すよう改修（図3）することにしました。主に食堂として整備し、

50年近い年月により大きく育った周辺の緑が楽しめる開放的な空間（図4）となります。また周辺の外構整備も進め、屋外にも多様なキャンパスライフの場を創り出す予定です。

八角形の食堂の北側部分については、福利厚生機能の拡充と、後述する事業手法と新たな交流機能の導入のため6階建てと塔屋に改築しています。

これらの結果、歩行者や施設利用者の多い中庭付近は、外構と一体となった低層建物によるヒューマンスケールで親しみやすい環境が形成され、その背景には折り紙のような屋根と新たな建物に、大きく育った街路樹が折り重なるキャンパス景観（図5）が形成されることとなります。

### 4. 新たな交流拠点として

吹田キャンパス再生が緒に就いた平成16（2004）年の大阪大学キャンパスに関する学内アンケートの結果をみると、くつろげる場所の不足が指摘され、これからのキャンパスに求められることとして「開



図3＊ 八角形の屋根内装イメージ



図4 開放的な食堂



図5 低層建物、樹木、高層建物による風景



図6＊（仮称）サロンの内装イメージ

かれた大学」、「地域との交流」が「威厳と風格のある大学」を大きく引き離していることが注目されるとされています。この結果は大阪大学キャンパスマスタープランに反映されており、現在のキャンパス計画一般においても重要な視点です。

翻ってセンテラス周辺（主に工学部）を見渡すと、そうした快適な場所が不足していることに気がきます。そこで、現役の研究者や学生同士といった横の交流や、同窓生や退職した教職員も集う世代を超えた縦の交流といった、知の蓄積、継承、創成を促す場（（仮称）サロン）（図6）を、センテラスの3階に設けることとしました。

ここでは、くつろぎ、談話、学習、議論、イベントといった様々な形の交流が同時多発的に行えるよう、空間デザインや設えを工夫しています。最大100名程度のイベントも行える広いスペース、少人数でのディスカッションが可能な会議室、ゆったりとくつろげる少し入りくんだ小さめの空間、一人での作業や学習に適したカウンターのある窓際等の特徴的な場所が用意され、椅子やテーブルも空間に合わせたものを用意する予定です。また、多くの美術品の寄付を受け展示する予定です。これらは空間に豊かな彩りを加え、さらに作品を通じて作家の精神性に触れることで、多くの刺激が得られることも期待されます。この他、交流を促す運営方法として、工学研究科情報広報室や同窓会組織である工業会によるイベント開催やオープンラボ利用者（共同研究講座等）による活用等も検討されています。

もちろん、1階の食堂は快適な空間に一新され、外構も利用しやすい広場として整えますので、日常的な交流の場となります。

## 5. 新しい事業手法への取り組み

国立大学の施設整備は国からの補助金を活用することが一般的ですが、法人化後は多様な資金の活用も進められています。センテラスの再生も同様で、補助金だけでなく、大学の独自財源として、構成員はもちろん、卒業生をはじめとする阪大関係者の皆さまや法人の方々からの寄付（大阪大学未来基金）、学内貸付制度を活用しています。改築部分に設置するオープンラボから得られる収入は、学内貸付金の返済と施設の維持・管理に充てることとしており、

これからの国立大学法人にふさわしい事業推進や施設管理の新たなスキーム構築を目指し取り組んでいます。

また資金だけでなく、樹木や設備、美術品の寄付、施設名称の公募への応募等、多くの方から様々な形で支援を受けて事業が進められています。

## 6. おわりに

最後になりましたが、センテラスという名称の説明をいたします。これは公募を行い、49の応募作品の中から選定されたものです。応募者は大阪大学工学研究科応用化学専攻のドクターコースに在籍する江住直人さんと、名称の意味を次のように記しています。

学生・教職員の食生活や課外活動などの大学生活をサポートする中心的な存在、かつ工学研究科の立地的中心という意味でCentralを用いた。また、産業界の人々も含めたさまざまな人が集まり、連携・コミュニケーションをとる事のできる場所、さらに食堂・購買・書籍などさまざまな施設を含む場所という意味でTerraceを用いた。それだけではなくテラスには学生や教職員だけでなく工学研究科、大阪大学全体を明るく照らす意味も込めて本名称を提案した。

この事業の目的を的確に表現したものとして高く評価されました。そして、ここにある「明るく照らす」施設となるには、「さまざまな人が集まり、連携・コミュニケーションをとる」ことが何より重要です。読者の皆さまはじめ多くの方に日々活用いただき、愛着を持っていただければ幸いです。

## 参考文献等

- ① 建築文化 1971年1月号 大阪大学吹田キャンパス計画
- ② 大阪大学キャンパスマスタープラン  
<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/campus/masterplan>

\*：事業の都合で変更されることがあります。